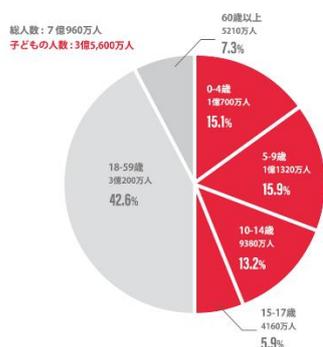


う、私たちにできること

1 貧困をなくそう



国際社会全体での目標である SDGs(持続可能な開発目標)の1つ目が「貧困をなくそう」です。世界で、1日約200円以下で生活する人をなくす、様々な面で貧困とされている人々を半分にするなどという目標が立てられています。極度の貧困を強いられている人の半数は17歳以下の子どもであるため、子どもの貧困を減らすことが目標達成のために重要です。(左下グラフ参照)



ボロボロの服や靴、食べ物もない状態など、人間として最低限の生活ができない状態は「絶対的貧困(*1)」。日本では、生活や文化の水準と比べて貧しい状態を示す「相対的貧困(*2)」の指標が使われています。日本の相対的貧困率は15.4%、6.5人に1人が相対的貧困にあたります。特に教育は所得に大きな影響を受けるため、貧困家庭に生まれた子どもが貧困から抜け出すことは難しいのです。

*1: 1日1.9ドル(約200円)未満で生活する状態。

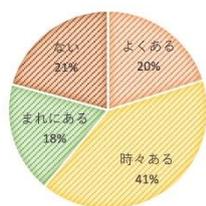
*2: 手取り収入を家族の人数で調整した金額が、その国の人口の中央値の半分未満の状態。

フェアトレード製品の購入は、途上国の人々の絶対的貧困をなくす支援になります。明確なリターンのある支援が行えるため、募金よりはハードルが低いでしょう。キャンペーン時には千葉大学生協でもチョコレートなどが販売されました。緑区土気あすみが丘プラザ1階ロビーには、千葉市初のフェアトレードカフェ&ショップがあります。見かけたら購入してみてください。



食料を買えなかった経験

よくある 時々ある まれにある ない



こども食堂の支援は日本の相対的貧困層の子どもたちの支援になります。支援方法の1つ目はボランティアスタッフになること。月に1度だけ営業するこども食堂もあるので、挑戦してはいかがでしょうか?特別イベントに参加するだけでも現状を知る機会になります。2つ目はサポート組織での支援です。こども食堂助成事業の企画運営やこども食堂の現状の調査研究をするNPOがあります。他の企業と連携して支援もできます。

千葉県約2割の子どもが貧困状態で(令和元年子供の貧困調査)その約6割が抱える課題が食事です。現在千葉県には30以上のこども食堂があります。近所のこども食堂を調べることから始めてみませんか?